

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2023年8月10日

上場会社名 中央ビルト工業株式会社
コード番号 1971

上場取引所 東

URL <http://www.chuo-build.co.jp/>代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 健
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営統括本部長(氏名) 松澤 範生 (TEL) 03-3661-9631
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,610	25.5	85	—	80	—	80	—
2023年3月期第1四半期	2,080	14.4	△56	—	△58	—	△61	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	34.26	—
2023年3月期第1四半期	△26.23	—

四半期経営成績に関する注記

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,535	2,530	26.5
2023年3月期	9,130	2,450	26.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 2,530百万円 2023年3月期 2,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	—
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,631	0.4	84	△17.9	60	△35.2	48	—	20.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	2,378,740株	2023年3月期	2,378,740株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	27,607株	2023年3月期	27,607株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	2,351,133株	2023年3月期1Q	2,351,244株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」を参照。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行するなど、感染拡大防止のための行動制限緩和によって経済社会活動の正常化に向けた動きが見られたものの、世界的な金融引締めによる景気下押しリスクや、原材料価格の高止まり、円安を背景とした物価上昇など経済動向は先行き不透明な状況となっています。

当社の主な関連業界である建設業界においては、公共投資が堅調に推移しています。住宅業界においても、弱含みではあるがおおむね横ばい、先行きについては底堅く推移していくと見込まれます。

このような状況の中、仮設部門は市場の競争激化の影響で苦戦はしているものの、売上高は上向き傾向で推移しており、住宅鉄骨部門の製造についても堅調に推移し、当第1四半期累計期間の業績は、売上高2,610百万円（前年同四半期比25.5%増）と増収となりました。損益面においては、営業利益85百万円（前年同四半期は営業損失56百万円）、経常利益80百万円（前年同四半期は経常損失58百万円）、四半期純利益80百万円（前年同四半期は四半期純損失61百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(仮設機材事業)

販売における電力施設点検用足場受注増や、物件の大型化に伴う資材不足及び着工を延期していた物件が動き始めたことによるレンタル需要増により売上高は616百万円（前年同四半期比13.8%増）と増収となりました。セグメント損失は7百万円（前年同四半期はセグメント損失86百万円）となりました。

(住宅鉄骨事業)

住宅鉄骨用部材の好調な需要に支えられ、売上高は1,993百万円（前年同四半期比29.6%増）と増収となり、損益面では、セグメント利益は92百万円（前年同四半期比189.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期末の総資産は9,535百万円となり、前事業年度末に比べ405百万円増加しました。流動資産が4,887百万円（前事業年度末比266百万円増）、固定資産は4,648百万円（前事業年度末比139百万円増）となりました。総資産の主な増加要因は、現金及び預金330百万円が増加した一方、受取手形及び売掛金144百万円が減少したことなどによるものであります。

(負債)

負債合計は7,005百万円となり、前事業年度末に比べ325百万円増加しました。流動負債が4,488百万円（前事業年度末比82百万円減）、固定負債が2,517百万円（前事業年度末比408百万円増）となりました。負債の主な増加要因は、長期借入金407百万円が増加した一方、支払手形138百万円が減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産合計は利益剰余金が80百万円増加したことなどにより2,530百万円（前事業年度末比80百万円増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月19日の決算短信で公表しました予想に変更はありません。今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,196,694	1,527,550
受取手形及び売掛金	1,990,469	1,845,973
棚卸資産	1,375,484	1,484,146
前払費用	17,378	14,023
未収入金	36,790	11,541
その他	4,193	4,364
流動資産合計	4,621,010	4,887,599
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,957,647	1,973,047
減価償却累計額	△1,682,392	△1,689,031
建物(純額)	275,254	284,015
構築物	723,310	723,310
減価償却累計額	△544,674	△551,345
構築物(純額)	178,636	171,965
機械及び装置	770,072	771,099
減価償却累計額	△698,318	△702,619
機械及び装置(純額)	71,754	68,480
貸与資産	7,120,839	7,224,417
減価償却累計額	△6,494,921	△6,508,739
貸与資産(純額)	625,917	715,677
車両運搬具	62,513	62,513
減価償却累計額	△57,245	△57,915
車両運搬具(純額)	5,267	4,598
工具、器具及び備品	270,331	271,481
減価償却累計額	△235,426	△237,200
工具、器具及び備品(純額)	34,905	34,280
土地	2,881,847	2,881,847
リース資産	92,672	92,672
減価償却累計額	△45,888	△48,972
リース資産(純額)	46,783	43,699
建設仮勘定	94,860	149,798
有形固定資産合計	4,215,226	4,354,362
無形固定資産	59,297	57,106

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	200	200
繰延税金資産	21,057	23,787
差入保証金	209,271	209,148
その他	3,986	3,779
投資その他の資産合計	234,516	236,915
固定資産合計	4,509,040	4,648,384
資産合計	9,130,051	9,535,984
負債の部		
流動負債		
支払手形	666,749	528,465
買掛金	1,387,370	1,327,197
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	559,644	649,662
未払法人税等	6,416	2,757
賞与引当金	22,183	—
役員賞与引当金	4,356	—
その他	223,955	279,919
流動負債合計	4,570,677	4,488,001
固定負債		
長期借入金	1,882,662	2,289,954
退職給付引当金	146,675	151,189
その他	79,937	76,180
固定負債合計	2,109,275	2,517,324
負債合計	6,679,953	7,005,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	508,000	508,000
資本剰余金	758,543	758,543
利益剰余金	1,211,460	1,292,021
自己株式	△27,906	△27,906
株主資本合計	2,450,097	2,530,658
純資産合計	2,450,097	2,530,658
負債純資産合計	9,130,051	9,535,984

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,080,407	2,610,576
売上原価	1,958,336	2,350,016
売上総利益	122,071	260,560
販売費及び一般管理費	178,133	175,347
営業利益又は営業損失(△)	△56,061	85,213
営業外収益		
受取地代家賃	1,164	1,164
雑収入	26	165
営業外収益合計	1,191	1,330
営業外費用		
支払利息	3,878	5,939
雑支出	159	16
営業外費用合計	4,038	5,955
経常利益又は経常損失(△)	△58,908	80,587
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△58,908	80,587
法人税、住民税及び事業税	2,757	2,757
法人税等調整額	—	△2,730
法人税等合計	2,757	27
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,665	80,560

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(資本金の額の減少)

当社は、2023年6月23日開催の第72回定時株主総会において、資本金の額の減少について決議し、2023年8月1日付でその効力が発生しております。

(1) 減資の目的

今後の資本政策の機動性及び柔軟性を確保することを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき資本金の減少を行うものであります。

(2) 減資の内容

①資本金の額の減少の内容

資本金の額508,000,000円を408,000,000円減少して、100,000,000円といたします。

②資本金の額の減少の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、資本金の額のみを減少し、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えております。